
トリエンナーレ スクール Triennale School

第7回 2015.5.31(日)

『デザインが国際展を変える! 都市を変える!』

ゲスト | 永原康史 (あいちトリエンナーレ2016公式デザイナー)
ユネスコ・デザイン都市代表者

第8回 2015.7.25(土)

『創造するホモ・サピエンス 洞窟壁画にみる人類のクリエイティビティ』

ゲスト | 五十嵐ジャンヌ (東京藝術大学美術研究科博士リサーチセンター)

第9回 2015.9.27(日)

『Maker×Art Makerムーブメントが広げるアートの可能性』

ゲスト | 小林茂 (情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 産業文化研究センター教授)

会場 | 愛知芸術文化センター 12階アートスペースA (第7回) 定員180名
名古屋市美術館 2階講堂 (第8回) 定員180名
愛知芸術文化センター 12階アートスペースE・F (第9回) 定員60名

日時 | 各回ともに14:00-15:30

参加費 | 無料 (申込不要)

当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。
なお、受付は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会

共催 | 名古屋市美術館、ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

トリエンナーレ スクール Triennale School

トリエンナーレスクールは、2016年に開催するあいちトリエンナーレに向けて、現代アートを楽しみながら学んでいただくレクチャーシリーズ。
第7～9回は、あいちトリエンナーレ2016のテーマ「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」に込められた人間の創造性について、デザイン、洞窟壁画、最先端のものづくりから読み解きます。

第7回 デザインが国際展を変える！ 都市を変える！

ゲスト | 永原康史 (あいちトリエンナーレ2016公式デザイナー)
ユネスコ・デザイン都市代表者
進行役 | 江坂恵里子 (国際デザインセンター)

名古屋市が2008年に加盟認定された「ユネスコ・創造都市ネットワーク」のユネスコ・デザイン都市の代表者を交えて、デザインが国際展や都市に果たす役割について考えながら、あいちトリエンナーレやデザイン都市なごやの未来を展望します。

2015.5.31 (日) 14:00 - 15:30
愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA
定員 180名 共催: ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

永原康史 NAGAHARA Yasuhiro

グラフィックデザイナー。多摩美術大学情報デザイン学科教授。2005年愛知万博「サイバー日本館」、2008年サラゴサ万博日本館サイトのアートディレクターを歴任。著書に『デザインの風景』など。



第8回 創造するホモ・サピエンス 洞窟壁画にみる人間のクリエイティビティ

ゲスト | 五十嵐ジャンヌ
(東京藝術大学美術研究科博士リサーチセンター)

フランスやスペインを中心に現存する洞窟壁画は、約1～4万年前に旧石器時代人が描いたものです。岩壁に躍動する動物や記号に使われた顔料や技法をとおして、なぜヒトだけが絵を描くのかという、人間の創造の起源に迫ります。

2015.7.25 (土) 14:00 - 15:30
名古屋市美術館 2階講堂
定員 180名 共催: 名古屋市美術館

五十嵐ジャンヌ IGARASHI Jannu

1968年千葉県生まれ。2003年フランス国立自然史博物館先史学博士。1990年代から2000年代にかけて、ラスコーをはじめ、フランスやスペインに現存する旧石器時代の洞窟壁画50か所以上を調査。



第9回 Maker × Art Makerムーブメントが広げる アートの可能性

ゲスト | 小林茂 (情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 産業文化研究センター教授)
進行役 | 河村陽介 (NODE-lab 主宰)

2005年創刊のテクノロジー系DIY工作専門誌『Make』は、つくるとは人の根源的な欲求で、多様な生き方やビジネスがあることを「Makerムーブメント」として顕在化させました。ここではMakerとアートとの関係について語ります。

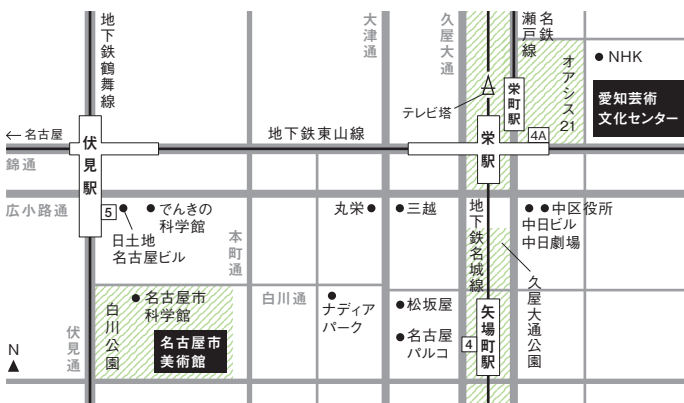
2015.9.27 (日) 14:00 - 15:30
愛知芸術文化センター 12階 アートスペースE・F
定員 60名

小林茂 KOBAYASHI Shigeru

1970年名古屋市生まれ。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程単位取得退学。3Dプリンターなどのデジタル工作機械を備えた工房「IAMAS イノベーション工房 [f.Labo]」を運営。



参加費 | 無料 (申込不要) 当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。なお、受付は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。



アクセス |

- 愛知芸術文化センター | 名古屋市東区東桜1-13-2
 - 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
 - 名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分 (オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

- 名古屋市美術館 | 名古屋市中区栄2-17-25 (芸術と科学の杜・白川公園内)
 - 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分
 - 地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分

問い合わせ先 | あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター 6階
TEL: 052-971-6127 FAX: 052-971-6115



あいちトリエンナーレは3年ごとに開催する国際芸術祭です。

あいちトリエンナーレ2016

芸術監督: 港千尋
テーマ: 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
会期: 2016年8月11日(木・祝)～10月23日(日)
主な会場: 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか、豊橋市内、岡崎市内

aichitriennale.jp

トリエンナーレ スクール +

トリエンナーレスクール+(プラス)は、トリエンナーレのテーマに深く迫るためのワークショップやフィールドワーク、グループディスカッション。参加者が主役となるアクティブラーニングの場を提供します。

第1回 |

考現学フィールドワーク「豊橋のまちをあるく」

第5回トリエンナーレスクール「日常へのまなざし 考現学に学ぶアートな視点」の実践版。あいちトリエンナーレ2016の会場となる豊橋のまちなかの事物を観察・記録します。

講師: 岡本信也 (考現学探集、野外活動研究会代表)

日時: 2015年6月14日(日) 10:00-16:00

場所: 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室(小) (愛知県豊橋市西小田原町123)

定員: 15名(事前申込制) / 参加費: 無料 / 現地集合・現地解散 共催: 豊橋市

第2回 |

ものづくりワークショップ「絵画のはじまり -土からつくる、土から描く-」

あいちトリエンナーレ2016のテーマカラー「イエローオーカー」は、洞窟壁画にも使われていた人類最古の色の一つ。土を採取してイエローオーカーの絵の具を作り、絵を描きます。

講師: 佐藤一信 (愛知県陶磁美術館主任学芸員)

日時: 2015年8月22日(土) 10:00-16:00

場所: 愛知県陶磁美術館 陶芸館 (愛知県瀬戸市南山口町234) ほか

定員: 25名(事前申込制) / 参加費: 無料 / 現地集合・現地解散 共催: 愛知県陶磁美術館

◎ 申込方法: 往復はがき、FAX (052-971-6115) にて、

- ①希望する講座のタイトル、②住所、③氏名・フリガナ、④電話番号をご記入の上、ご応募ください。※お申込み1件につき1名のみいたします。

往復はがき: 〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター 6階
あいちトリエンナーレ実行委員会「トリエンナーレスクール+」係

締切: 考現学フィールドワーク「豊橋のまちをあるく」5月15日(金) 必着

ものづくりワークショップ「絵画のはじまり-土からつくる、土から描く-」7月24日(金) 必着

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。※各施設へのお問い合わせはご遠慮ください。

※アクセス等については、後日当選者の方に事務局よりご連絡いたします。

参加者特典「スクールファイルキット」が登場!!

お手持ちのA4ファイルをキットでカスタマイズして、配布資料やメモをファイリング。あなただけのスクールファイルを作ることができます。

※お1人につき1点スクールファイルキットを配付します。